



2020 年 8 月 6 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード8739 東証第一部)

「未来創生 2 号ファンド」

AI 医療機器ベンチャーのアイリス株式会社への投資実行

—AI によって医師の持つ匠の技をデジタル化する AI 医療機器を研究開発—

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2018 年 7 月に設立した「未来創生 2 号ファンド」が、AI（人工知能技術）によって医師の持つ匠の技をデジタル化する医療機器の研究開発・製造、機械学習の技術開発を行うアイリス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：沖山 翔。以下、アイリス社と表記）への投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせします。アイリス社は今回の調達資金を活用し、AI 医療機器のさらなる研究開発の加速とグローバル展開に向けた準備および優秀な人材の獲得を進めます。

■投資先企業の概要

アイリス社は、2017 年 11 月の創業以来、AI 技術を用いた高精度・早期診断対応のインフルエンザ検査法の開発に取り組み、2019 年 4 月には第一種医療機器製造販売業を取得、同年冬には大規模な臨床試験を実現し 1 万人以上のデータを収集するなど成長を続けています。アイリス社は、医師 4 名を含む医療従事者や元厚生労働省・経済産業省、医療 AI 専門家、大手医療機器メーカー出身者など多数の専門職が揃い、医療現場・技術（ハード、ソフト、AI）・規制を深く理解した上で AI 医療機器をスピーディに開発する力を有しています。今後もインフルエンザ AI 診断支援機器だけでなく他疾患への展開等、「すべての医師が匠の医療技術を共有し育てることのできる社会の実現」というミッションに基づき、医療の未来に貢献します。

本件プレスリリースの内容を含め、詳細についてはアイリス社のホームページ：<https://www.aillis.jp/> をご参照ください。

■「未来創生（1 号）ファンド」及び「未来創生 2 号ファンド」の概要

未来創生（1 号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた 3 社による総額約 135 億円の出資により、2015 年 11 月より運用を開始しました。最終的には、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50 社に投資しました。2018 年下半期には、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2 号ファンドの運用を開始しました。2020 年 7 月末時点の運用資産残高は、1 号と 2 号あわせて、1,093 億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>

■ 本件に関するお問い合わせ先



スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com